

## 海外グループ会社

### ゼオンケミカルズ社 (ZCLP)

#### 会社紹介

ゼオンケミカルズ社(ZCLP)は、1989年にB.F.グッドリッチ・ケミカル社のエラストマー部門を買収し、同年米国テキサス州パサデナに建設した水素化ニトリルゴム工場を統合して設立しました。アクリロニトリルブタジエンゴム、アクリルゴム、水素化ニトリルゴム、エピクロルヒドリンゴム、Zeotherm®(ゼオサーム)など合成ゴム製品を生産する一方、シクロオレフィンポリマー、ステレンイソブレンブロックポリマー、RIM(反応射出成形品)、電子材料なども販売し、北米を中心に事業を展開してきました。また、ゼオンブラジルを拠点に南米にも事業を拡充しています。設立以来、日本ゼオンの技術を北米・南米に展開して、新製品開発や新用途展開に取り組んできました。

2013年にはケンタッキー工場のアクリルゴムの生産能力増強を計画しており、さらなる事業拡充を目指しています。



Tom Gettelfinger 社長



ケンタッキー工場

#### 環境安全活動

##### 1. 工場における環境負荷削減の取り組み

ZCLPは、原料供給メーカーとも協力し、最先端技術を導入して、工場における環境負荷削減に取り組んでいます。ケンタッキー工場では2012年に、供給されるスチームをバイオマス为原料としたものに変更して、化石燃料への依存度を大幅に削減しました。またミシシッピ工場では、パーム油などの植物油からできたモノマーを原料としてエピクロルヒドリンゴムの製造を計画しています。ZCLPは社会責任を果たすだけでなく“Smart Business”を継続して推進していきます。

##### 2. 従業員の健康推進

従業員や家族が健全な生活習慣を定着できるように、健康推進に取り組んでいます。一例として、従業員とその家族の禁煙を援助するプログラムがあり、禁煙を試みる従業員が定期的に会合を開き、成功例を共有したり励まし合うなどしています。

### 3. 環境関連データ

ゼオンケミカルズ社(米国):ケンタッキー		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	8	7	7	8	8
	使用量(トン)	18,835	6,459	17,691	18,189	16,260
	排出量(トン)	56	33	39	43	28
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	721	671	770	720	572
	埋立処分量(トン)	679	645	736	689	552
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m <sup>3</sup> )		-	-	-	1,080	965
CO <sub>2</sub> 排出量(トン)		35,996	22,799	34,648	34,755	32,217
エネルギー使用量(原油換算、kL)		11,870	6,909	11,170	11,048	10,136

ゼオンケミカルズ社(米国):テキサス		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	34	24	42	39	32
	埋立処分量(トン)	1.4	3.9	1.4	1.0	1.2
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m <sup>3</sup> )		-	-	-	1,646	234
CO <sub>2</sub> 排出量(トン)		8,118	5,419	10,426	10,325	9,965
エネルギー使用量(原油換算、kL)		2,332	1,509	3,093	3,065	2,945

ゼオンケミカルズ社(米国):ミシシッピ		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	3	3	3	3
	使用量(トン)	3,923	2,633	5,466	5,160	4,444
	排出量(トン)	53	39	76	70	47
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	50	57	53	41	22
	埋立処分量(トン)	50	57	53	41	22
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m <sup>3</sup> )		-	-	-	152	134
CO <sub>2</sub> 排出量(トン)		15,099	13,097	22,375	19,256	17,925
エネルギー使用量(原油換算、kL)		6,323	5,350	9,652	8,157	7,514

## 地域との共生活動

ZCLP は、これまで地域社会へボランティア活動や寄付活動などを続けてきましたが、2012 年はその中でも長年にわたって地元の公立小学校へ教材や遊具などの資金援助を継続して行ってきた功績が認められ、地元 Jefferson 郡の公立学校を管轄する組織(JCPS;Jefferson County Public Schools)が主催する We CARE Award 賞にノミネートされました。“CARE”とは、Community, Activity, Recognition, Enterprise の頭文字を取っており、その名の通り地域社会への慈善活動が認められた企業団体が表彰されるもので、地元では格式高い賞として知られています。2013 年夏に授賞式が執り行われました。従業員一同、これまでの活動を評価いただいてノミネートされたことを誇りに思い、今後も地域との共生活動を続けていきます。